

平成19年8月6日

少数台数のリコール届出の公表について (平成19年7月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成19年7月は4件（うち1件は7月31日に公表済み）の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：日本フルハーフ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月19日	1909	車名：フルハーフ 型式：DFPBX135A	26	平成13年 6月20日～ 平成16年 9月25日
不具合の部位等	トレーラのエアブレーキ装置にエアの供給及びエア圧をコントロールするバルブ（リレーエマージェンシバルブ）において、定期交換部品の指定及び補修用部品の設定をしていなかったため、部品交換がおこなわれていない。そのため、そのまま使用を続けると、リレーピストンとシリンダーが固着し、ブレーキを離した際に、ブレーキが引きずり、最悪の場合、ブレーキが過熱し、火災に至るおそれがある。			

2. 届出者：極東開発工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月19日	1910	車名：極東 型式：KTT280改	7	平成15年 7月18日～ 平成16年 9月17日
不具合の部位等	トレーラのエアブレーキ装置にエアの供給及びエア圧をコントロールするバルブ（リレーエマージェンシバルブ）において、定期交換部品の指定及び補修用部品の設定をしていなかったため、部品交換がおこなわれていない。そのため、そのまま使用を続けると、リレーピストンとシリンダーが固着し、ブレーキを離した際に、ブレーキが引きずり、最悪の場合、ブレーキが過熱し、火災に至るおそれがある。			

3. 届出者：昭和飛行機工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月24日	1916	車名：いすゞ 型式：KL-CYG23P4 他	38	平成16年 5月18日～ 平成18年11月 2日
不具合の部位等	タンクローリにおいて、タンクとシャシフレームを結合する金具の取付位置が不適切なため、当該金具取付部付近のフレームに亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると亀裂が進行し、最悪の場合、フレームが折損し、走行不能となるおそれがある。			

【参考 平成19年7月のリコール届出総件数】

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	15件	11件	4件 ※
輸入車	5件	5件	0件
計	20件	16件	4件

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全全部審査課
リコール対策室 中村・木内
電話 03-5253-8111(代表)(内線 42352・42354)

※リコール届出番号 1920 については、7月31日に公表済みのため、本公表には含まれていません。